

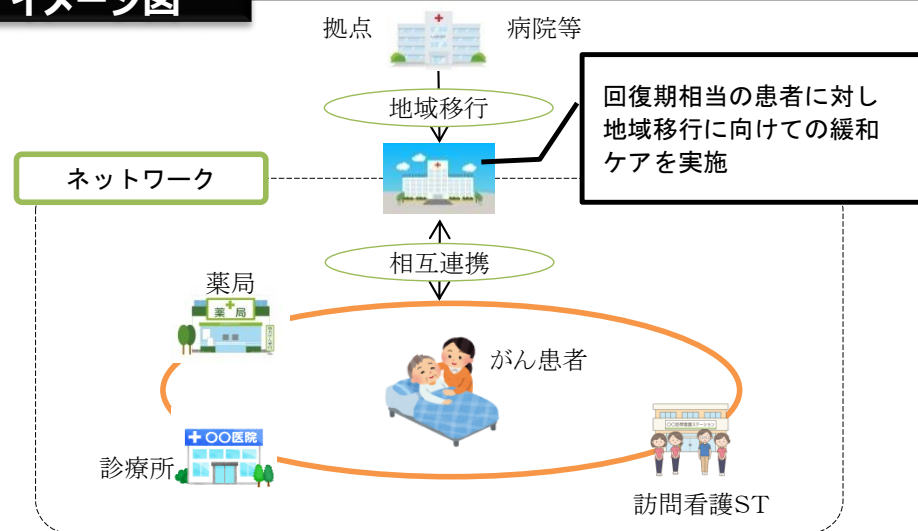
# 「緩和ケア地域移行モデル事業の実施」について

## 1 概要

- 「東京都がん対策推進計画（第二次改定）」では、緩和ケアに関する課題として、「緩和ケア病棟と一般病棟の役割の明確化」、「拠点病院等と地域の病院の連携の促進」、「医療機関における在宅緩和ケアの推進」などが挙げられている（参考資料3参照）
- 拠点病院、地域の医療機関が連携し、円滑に地域へ移行できる仕組みが必要

- 回復期相当の病院にMSW等を配置し、拠点病院等からの患者の受入、地域移行並びに地域の医療機関、医療従事者等と連携を図る事業を実施
- 病床の機能分化と連携に必要な機能（医療、人材、設備等）、医療機関・医療従事者の効果的な連携手法等を検証

## 2 イメージ図



## 3 今後のスケジュール（予定）

次回以降の緩和ケアWGにて、モデル事業の実施要件、病院選定等を実施

令和2～3年度 モデル事業実施  
⇒実施状況を勘案しながら、病床の機能分化と連携のあり方等について検討

令和4年度以降 新たな取組の検討